

開設者の変更と 勝久病院が担う役割について

医療法人社団 恵生会 理事長 岩下浩蔵

令和元年8月21日 菊池地域医療構想調整会議

1. 開設者の変更

(医療機関名: 勝久病院)

	変更前	変更後
開設者	(けいせいかい) 医療法人社団 恵生会	(さかなしかい) 医療法人社団 坂梨会
管理者	(たじま とおる) 田島 徹	(ふるかわ まこと) 古川 實
所在地	菊池郡大津町室261-9	菊池郡大津町室261-9

2. 現状と課題

【自施設の現状と課題】

1) 基本理念 地域に根ざした、医療・介護・福祉を实践し希望・信頼・安心・満足を提供できる病院を目指します

2) 基本方針

- (1) 患者様と利用者様の人格と尊厳を重んじます
- (2) 常に敬語と笑顔で対応します
- (3) 自己研鑽につとめ人間性を高めます
- (4) お互いに信頼される人間関係を構築します
- (5) 医療・介護のプロとして誇りと自覚を忘れません
- (6) 快適な療養環境の提供を目指します
- (7) 常に整理整頓を心がけ清潔を保ちます
- (8) 施設周辺の美化に取り組みます
- (9) 分かりやすい説明を行い、質の高い医療・介護を目指します
- (10) 地域の関係機関と連携し最適な医療・介護を提供します

3) 診療実績(届け出入院基本料、平均在院日数等)

- ・急性期病床は地域一般入院料3(20床)
- ・慢性期病床は40床 医療療養病棟入院料1(20床)と介護療養病棟(20床)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一日平均入院患者数(人)	57.6	57.5	55.7
一日平均外来患者数(人)	51.3	50.1	48.4
病床利用率(%)	96%	95.8%	92.8%
平均在院日数(日)	34.4	32.9	31.4

2. 現状と課題

4) 勝久病院の職員数(令和元年8月1日現在)

区分	医師	看護・介護職員	他職種	事務職員	計
常勤	3	54	11	6	74
非常勤	8	6	2	0	16
計	11	60	13	6	90

5) 自施設の特徴

当院は昭和48年に開院し、現在は内科・整形外科を主な診療科として、一般病棟、医療療養病棟、介護療養病棟の病床を有し、長期療養が必要な入院患者や在宅復帰に向けたリハビリ治療を提供しています。また、今年度より、腎臓内科の常勤医師を迎え、新たに透析診療を開始しております。医療の他、介護・福祉の分野へも力を入れており、デイケア、訪問リハビリ、訪問看護、有料老人ホームを運営しています。

6) 他医療機関との連携

地域連携室は看護師長を中心に、基幹病院や医院、介護施設等と連携を取っているが、今後、医療ソーシャルワーカーを配置する予定です。

2. 現状と課題

7) 当院の課題

① 経営の安定化

当院は赤字経営が続いており、経営安定化が課題となっている。

② 施設・設備の老朽化

当院の建物は一番古い所で築47年が経過しており、経年劣化に加え、施設内の動線等、使いづらくなってきており、施設や設備の改善が必要となっている。

③ 人員確保

看護・介護職員の正職員が不足気味で、派遣看護職員の比率が高くなっている状態で、職員の確保に窮している。

3. 開設者を変更する理由

当院は、連続した赤字で経営状況が思わしくなく、経営を安定させることが課題となっています。

その為、経営及び医療提供体制も整っている医療法人社団坂梨会の役員、幹部が平成30年5月に恵生会の社員及び理事に就任し経営改革を行っているところです。

今回、医療法人社団坂梨会と合併し(開設者を変更)することで、財務的にもプラスとなり、課題である老朽化している建物・設備の改善と施設の充実化をスムーズに行えることとなり、今まで以上に地域に貢献できる、よりよい医療・介護を安全に継続して提供できる体制を強化するため。

4. 今後の方針

【開設者変更後 地域に於いて担うべき役割】

これまで同様、療養型中心の病床機能は維持していく予定ですが、診療体制の変更に対応して、介護療養病棟は医療療養病棟へ変更する予定です。外来診療科については、整形外科主体から、内科系特に腎臓内科、人工透析内科主体の診療体制を予定しています。

～主な方針～

- ①介護療養病棟を医療療養病棟へ転換する。
- ②老朽化している建物設備をリニューアルし医療提供体制を充実させる。
- ③他医療機関、介護施設等との連携強化。

5. 具体的な計画

(1-1) 今後提供する医療機能に関する事項

単位: 床

病床機能	2018年	2025年
高度急性期	0	0
急性期	20	20
回復期	0	0
慢性期	40	40
その他	0	0
合計	60	60

慢性期の40床のうち、介護療養病棟20床は人工透析の入院患者の増加に応じて医療療養病床へ転換予定。

今後、当院が担うべき地域の役割と方向性に呼応して、訪問診療、訪問看護等の在宅診療の比重の増加や病床の変更はありうるが未定である。

5. 具体的な計画

(1-2) 診療科の見直し

	現時点(令和元年8月)	2025年	理由・方策(人員確保策)
維持	内科、呼吸器内科、外科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、放射線科、消化器科、胃腸科、循環器科、こう門科、麻酔科 ※平成31年4月～腎臓内科、人工透析内科を標榜	整形外科の常勤医を復活したいと考えている	整形外科は常勤医師の退職に伴い非常勤体制となる。
新設	なし	なし	なし
廃止	なし	なし	なし
変更・統合	なし	なし	なし

5. 具体的な計画

(1-3) 数値目標

	現時点(令和元年6月時点)	2025年
①病床稼働率	85.9% 在院患者延べ人数(退院患者を含む) / (病床数 × 日数)	95%
②紹介率	13.4% (紹介入院件数 / 入院件数)	50%
③逆紹介率	33.3% (逆紹介入院件数 / 紹介入院件数)	50%

5. 具体的な計画

(1 - 4) 数値目標の達成に向けた取り組みと課題

①老朽化している病院設備のリニューアルと診療内容の充実

- ・外来、手術室、検査室、内視鏡室、レントゲン室、病棟等の建物設備をリニューアルし、療養環境の改善を行い、医療提供体制の充実を図ります。また、新たに増築棟2階に透析室を設け、熊本赤十字病院等と連携しバスキュラーアクセスの診療を中心に、当院の役割を果たしたいと考えています。

②紹介率・逆紹介率の向上

- ・当院が持つ各病床機能や診療内容の変更等を周辺の病院・診療所・介護施設等に逐次周知し、情報共有と連携強化に努め、地域医療に貢献して行きたいと考えています。
- ・専門性の高い疾患については、高次の医療機関へ紹介します。
- ・地域連携交流や月例で地域の保健師との情報交換会を開催し、医療と介護の地域連携を増進します。

課題: 人材確保の取り組み

- ・看護・介護正職員が不足しているため、職場環境と労働環境を改善していく計画です。
- ・労働環境を守り、ワークライフバランスをとるよう推進していく計画、現在、産業医が指導実施中です。